

遠野風土記

25



市指定有形文化財
所在地 土淵町大杉
所有者 常堅寺

仁王尊像

土淵町大杉にある常堅寺の山門には、高さ三メートルを超える仁王像が安置されています。この仁王像は、附馬牛町大出の早池峰山妙泉寺の仁王門にされていたもので、一八六八(明治元年)の神仏分離令により、常堅寺に譲渡されました。

妙泉寺に伝わる「当寺要用留書」によると、斉衡年間(八五四〜八五七年)にかけて諸国を巡っていた慈覚大師円仁が、附馬牛町大出を訪れた際、早池峰開山の不思議な靈験を聞き、宮寺として妙泉寺を建て、仁王像を刻んで山門に安置したと伝えられています。その後、傷みが激しくなつたため、一七二三(享保八)年仙台領水沢村(現奥州市水沢区)の大仏師により新しく作られたとされます。

市内の仏像では、福泉寺の十一面観音像、鞍迫観音堂の十一面観音像に次いで三番目の大きさです。

常堅寺の仁王像は、妙泉寺ゆかりの仏像として、また遠野の仏像彫刻の歴史を知る上で貴重な仏像といえます。



ラブラドルレトリバーという種類の犬を飼っています。名前はサンタ。実は先月号にこっそり載せていました◆早速先月号を見開いている皆さん、正解です。広報は遠野のガイドブック、貴重な資料が満載です◆残念ながら、今まで捨てていた皆さん。今月号からいかがですか。かめばかむほど(読めば読むほど)味わいが増しますよ。ぜひ、ご賞味あれ！ (小森)

豚もおだてりや木に登る？◆小心者の我ら広報遠野担当者は「今月の内容はどうかだったかな？」と、発行後も読者の反応を心配する毎日。「あの記事おもしろかったよ、「広報に載った写真が欲しい」という皆さんの声が何よりの励み◆「広報」の腕章を付けている私たちを見掛けたら、ぜひ声を掛けてください。(馬場)